

情報活用のうまい人がやっている 3色ボールペンの使い方

齋藤孝



情報過多なデジタル時代こそ アナログが最強！

本書で提唱する3色方式情報術は、きわめてシンプル。情報を読むとき、あるいはメモなどに書き留めるときに、3色の色分けをする。

その3つの色とは、赤・青・緑。

「3色ボールペンメソッド」を身につけると、最終的には3色ボールペンがなくても、あらゆる情報を瞬時に峻別できるようになる。IT（情報技術）・AI（人工知能）が発達する情報化社会において、これほど強力な思考の武器はほかにない。

応用範囲の広いこの技は、読書法に限らず、文章力、話術、速読術といった現代人に欠かすことのできないスキルをも向上させる。

※本書は2003年6月に角川書店（現・KADOKAWA）から刊行された『三色ボールペン情報活用術』を改題・加筆および再編集したものです。

【CONTENTS】

- 序章 デジタル時代こそ「3色ボールペン感覚」が必須スキルとなる
- 第1章 なぜ「整理法」ではダメなのか
- 第2章 3色方式とは何か
- 第3章 くぐらせる——情報との出会い方
- 第4章 立ち上がらせる——情報を立体化する
- 第5章 編み出す——情報からアイデアを生む練習問題

【書誌情報】

本体価格-----1500円
ISBN-----978-4866802497
ページ数-----240
判型-----46判

【著者】

齋藤 孝（さいとう・たかし）

明治大学文学部教授。1960年静岡県生まれ。東京大学法学部卒業後、同大学院教育学研究科博士課程等を経て、現職。専門は教育学、身体論、コミュニケーション論。

ベストセラー作家、文化人として多くのメディアで活躍する一方で、本業は、中学・高校の教員を目指す学生が履修する教職課程にて教鞭を執る「教師」であり、教員養成に力を注いでいる。

「教育における身体の研究」「コミュニケーション技法」「教育方法および授業のつくり方」「教師としての力量形成」を研究テーマとし、ハードかつハイテンション、超実践的な授業で、教員を志す学生たちから、熱い支持を得ている。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」総合指導。著書多数。

3刷 36,000部(2023年9月24日)